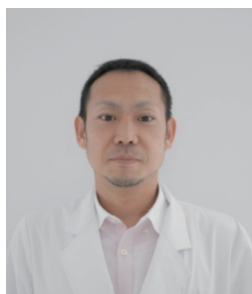


病院長就任あいさつ

院長 帆秋 伸彦



(帆秋伸彦院長)

平成29年4月1日付けで、前院長である帆秋孝幸より引き継ぎ、帆秋病院院長に拝命致しました。

帆秋病院は開業から、60年以上に亘り、病院の理念である「誠実」、「信愛」、「奉仕」を掲げ精神科地域医療に貢献してまいりました。

平成26年4月より帆秋病院副院長に任命され、平成27年4月には高規格道路庄野原佐野線の延伸に伴い、現在の大分市大字大分4772番地へ移転新築致しました。認知症診断補助目的で3テスラのMRI導入やうつ病治療目的での高照度光療法室の整備などを行いました。

また、帆秋病院長に就任してから、平成29年10月1日に患者さんが退院後、地域で安心して生活ができるよう相談支援事業所「チャレンジ」を院内に開設をし、10月9日に患者さんのデイケアや作業療法で使用するテニスコートも開設いたしました。職員の福利厚生や地域の医療関係者の方々への使用も行っております。

今後は、平成29年12月1日より精神科患者さんの社会復帰に向けた取組として、就労継続支援B型「サニーファーム」を院内に開設し、精神科医療のみならず福祉にも貢献していきたいと考えております。今後とも精神科地域医療に貢献すべく邁進していく所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

テニスコートがオープンしました。!



(帆秋孝幸理事長)

平成29年10月9日の体育の日に「テニスコート」の落成式があり、理事長が開設の目的について次のように挨拶を行いました。

『まず、1点目は“患者さん”の為です。』

平成27年に移転をして、若い患者さんが年々増えてきました。精神科の治療は、医師をはじめ多職種で構成されたコメディカルチームが精神療法や薬物療法を中心に、総合的な治療を行っています。が、運動や軽作業を用いた非薬物療法も外すことはできません。

昔は、非薬物療法として「相撲場」や「プール」を作ったこともありましたが、あまり肌を見せる運動は好まれない傾向がありました。

それで、「今人気の高い運動・種目は何だろうか?」と患者さんやコメディカルスタッフに話を聞いたところ、今は「テニス」が注目を集めている運動の一つという声が多く聞かれ、移転に伴い準備を進めてきた次第です。

2点目は、“職員の福利厚生”です。

当院は、平成20年に院内保育園「さくらんぼ保育園」を開設し、コメディカルスタッフの働きやすい環境整備に努めてまいり、お陰さまで年々若い方が増えてまいりました。現在、「さくらんぼ保育園」は園児二十数名の利用があり、大変喜ばれています。これに加え、先ほど触れましたが、私どもの精神科の治療は、医師を中心に多職種がチームを形成し、総合的な治療にあたっております。

チームの「コミュニケーション」の向上は「医療の質」の向上にも順ずるものと考えております。「コミュニケーション」の向上の、手段の一つとして大いにテニスコート利用して頂き、より良い医療の提供に努めて頂きたいと思っております。

3点目は、“地域交流の場”です。

当院が今日まで地域に根ざした精神科医療に邁進してこれたのは、元町住民の方方はもとより、各関連施設様の多大な御支援・御協力の賜物で御座います。心より感謝申し上げます。

また、移転の際は多方面において、御支援・御協力を承りました事を、重ねて御礼申し上げます。

今後は、これまで以上に皆様方との繋がりの発展に職員一同、心より祈願しておりますので、テニスコートや体育館が空いている時は是非、「地域交流」の場として帆秋病院を利用していただければ幸いです。』



理念

誠実

信愛

奉仕

基本方針

- ・私たちは、患者さんの人格と意思を尊重し、思いやりのある心をもって接遇し、よりよい医療を提供いたします。
- ・私たちは、安全で安心と満足の得られる医療を提供いたします。
- ・私たちは、常に自己研鑽に励み医療の向上を目指します。
- ・私たちは、病院の運営に協力いたします。
- ・私たちは、患者さんのプライバシーを保護します。

新しい事業所について、お知らせします。！

相談支援事業所 チャレンジ

平成29年10月に指定特定相談支援事業所 チャレンジ を開設しました。
相談支援専門員が、精神障害のある人が住み慣れた地域で自立した日常生活、又は社会生活ができるよう、共に考えていきます。

障害者福祉サービス等をご利用の際に必要な「サービス等利用計画書」を作成をしますので、ご相談ください。

- 利用時間は、月曜日から金曜日までです。
- 問合せ先 電話097-535-7177
- 担当 相談支援専門員 有益・福岡

就労継続支援B型「サニーファーム」

平成29年12月1日に、就労継続支援事業所B型「サニーファーム」を開設する運びとなりました。

当事業所「サニーファーム」は地域企業と連携のもと、「タオル・シーツ折り」・「農作業」・「清掃業」等の軽作業を提供します。就労時間は一日5時間、時給220円程度を支給致します。

退院をした、又は退院する予定の方で仕事に就いてみたいが、

- ①いきなり一般企業は不安・・・自信がない。
- ②心身の体調に併せて仕事の練習をしてみたい。
- ③デイケアと就労を併用しながら仕事の練習をしてみたい。
- ④働きたいけど、どうしたらよいか分からない。
- ⑤退院したけど、一歩が踏み出せない。

など、不安な気持ちになったことはありませんか？

「サニーファーム」では私たち専門スタッフが、皆さんの「地域生活・社会復帰」を支援します。

私たちと一緒にチャレンジしてみませんか！

就労継続支援事業所B型「サニーファーム」の利用を希望される方は気軽にお問い合わせください。

- 問合せ先 電話097-535-7072
(サービス管理責任者 後藤)



学 会 発 表 報 告

平成29年9月8日（金）から9日（土）までの二日間、パシフィコ横浜センターにてアルコール・薬物依存関連学会合同総会が開催されました。

今回は、日本アルコール・アディクション医学会学術総会と、日本アルコール関連問題学会の合同学会で、精神科、生理学、看護等の研究者、病院や保健機関等に勤務する医師、看護師やメディカルスタッフ等全国から1,000名以上の方々が参加して、様々な視点から学術的な討論が行われました。

平成29年度の本学会のテーマは「ポピュレーションリスクとしてのアルコール健康障害と依存症」でした。依存問題は非常に大きな健康・社会問題であり、国が進める一億総活躍プランの中で「アルコール・薬物等による依存症について、依存者が地域において必要な治療・回復プログラムや相談を受けられる環境の整備を推進する」と掲げられており、早急に取り組まなければならない課題です。

当院からは、臨床心理士岩野が、「アルコール依存患者と健常者の心理well-beingの比較」、作業療法士鈴木が、「入退院を繰り返すアルコール依存症患者が断酒に至った経緯の検討」という演題で発表しました。

今回発表をした「アルコール依存患者と健常者の心理well-beingの比較」は、人格的成長、人生における目的、自律性、自己受容、環境制御力及び積極的他者関係の6因子でメンタルヘルスを指標化して、アルコール依存症患者と健常者の間で、心理的well-beingの高さを比較し、分析をしてその結果を発表をしました。

また、職員は、講演会、ワークショップやシンポジウム等にも参加し、最新の医療・福祉支援の専門知識などを多くを学ぶことができました。

これからも職員一同は、専門性を高め、医療・福祉サービスの質の向上に努めていきたいと思っています。

帆　　と　セ　ラ　ピ　ー　♪

うつ病に良いといわれるω-3系脂肪酸が豊富なメニュー

～サバのムニエル～



材 料(1人分)

・サバ(切り身)	80g
・塩コショウ	少々
・小麦粉	小さじ1杯
・なたね油	大さじ1杯
・カボス	適量
・さやいんげん	30g
・プチトマト	3個

栄 養 価

エネルギー	348Kcal
たんぱく質	17.8g
脂質	26.4g
炭水化物	9.8g
塩分	0.3g
ω-3系脂肪酸	2.7g

《 作 り 方 》

①サバ切り身80gの両面に軽く塩コショウを振ります。

②①に小麦粉を軽くまぶし、フライパンになたね油大さじ1杯を入れ、皮面からきつね色になる迄焼きます。

③さやいんげんをソテーし、かぼす適量、プチトマト3個を付け合わせにします。

- ◇青魚に多く含まれるω-3系脂肪酸はうつ病に良いと言われています。
週に2～3回は魚を食べるようにしましょう！
◇また、栄養バランスの良い食事も心がけましょう！

○平成29年度 優良永年勤続表彰職員の紹介

永年にわたり当院に勤務し、職務に精励し、貢献された職員として、次の方々が表彰されました。

1、大分県精神福祉協会表彰

・勤続30年以上 平野 和久 阿部 宜江

2、大分県精神科病院協同組合表彰

・勤続10年以上 藤尾 春美 花宮 牧子 渡辺 典子
 川口 あつ子 板井 光子 後藤 暁子
 後藤 益美

随 想

就 労 の 喜 び

看護師 森末 律子

お陰様で、古希過ぎて、まだ働かせていただいていることに、
先ず、深い感謝の気持ちで一杯です。

そのことが、過日、大分合同新聞に取り上げて頂いたのです。

知人・友人等多くの方より、“すごいね・・・”等の励ましの声を
沢山頂きました。職場の方々も然りです。

大変嬉しい限りです。ほんとうにありがたいことです。

そして、十六年半という年数が経ったことは、やはり、皆様に
支えられ、お互いに助け合い、気遣いを忘れないということだと
つくづく思っています。

又、若い方々からの刺激を貰い、それをエネルギーに、日々
頑張れることは、ほんとうに、大きな喜びです。

ありがとうございます。

掲載された
平成29年7月3日(月)
大分合同新聞(夕刊)



(生き生きと働く・シニアワーカーのいま)

『さくらんぼ保育園』通信

当院では、当院に勤務する職員が安心して勤務できるように院内保育所を設置しています。入園できる児童は、生後4ヶ月から就学前までの乳幼児で、保育時間は、月曜日～土曜日の午前8時～午後5時30分までです。

『さくらんぼ保育園』の主な行事

4月・入園式	8月・プール遊び終了	12月・クリスマス会
5月・書き方教室開始	10月・運動会	2月・節分(豆まき会)、発表会
7月・七夕会	11月・いもほり	3月・卒園式

“書き方教室”が始まりました。

平成29年5月から、書家西村桃霞先生の指導のもと「書き方教室」が始まり、4歳から5歳児の子どもたちが楽しんで「書き方教室」に参加しました。

「書き方教室」を通して、子どもたちは小学校の入学前に正しい姿勢でイスに座ったり、集中をして迷路やひらがな遊びに取り組んでいます。

子どもたちからは「またしたい」、「もっとしたい」など意欲的で、月2回の「書き方教室」を心待ちにしています。



“運動会”が行われました。

10月8日(日)に運動会を行いました。

天候が心配されましたが、過ごしやすい日となり、毎日暑い中で一生懸命に練習にがんばってきた子供達は、全力で競技を行い、かわいいダンスを見せてくれたり、保護者の方々も競技に参加していただいて大いに盛り上がり、とても楽しい1日でした。

※友達と力を合わせて頑張る姿に、いっそうの成長を感じました。



ママナースから「安心して働ける職場環境です。」

看護師 岡本 恵子

私はブランクから職場復帰後、子どもを院内保育所に預けて働いているママナースです。

当院には子育て世代のママナースがたくさんいます。子育ての先輩もたくさんいて、子育ての相談も出来、勤務中に子どもが体調が悪いと、保育園から連絡が入りすぐに子どもの具合を見に行くことができます。とても理解ある職場です。

院内保育所に子どもと一緒に通勤し、帰りも一緒に帰ることができるし、何よりも自分の近くに子どもがいるという事に安心感があります。

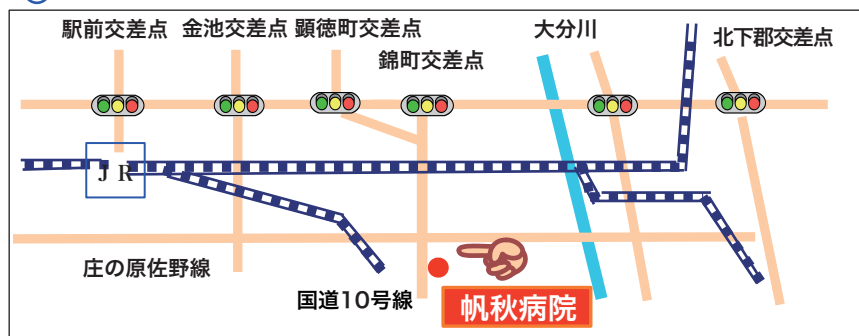
保育園の先生方も優しく、遊びの工夫もされていて、子どもも毎日楽しみにして登園しています。

院内保育所のおかげで、子育てママナースに優しく家族を大事に考えてもらえる当院で、ブランクの不安もなく安心して仕事と子育てが両立できています。



病院までのアクセス

- バス： 元町経由「元町」下車
- 車： 大分駅前から国道10号線を宮崎・犬飼方面へ向かって約10分
- JR： 大分駅からタクシーで約10分



発行日/平成29年11月
住所/〒870-0843
大分市大字大分 4772-2
(元町6組)



医療法人至誠会

帆秋病院

精神科・心療内科
内科・歯科

TEL 097-543-2366
FAX 097-543-0664
<http://www.hoaki.jp>